

男子ダブルスは、鈴木翼・中村雄和(愛工大名塚中)と植田幹太・櫻村雄太(野田中)が決勝で対戦。鈴木・中村は、台上から攻撃を展開し、相手の返すが、植田・櫻村は強打で対応する。しかし展開で得点をあげた鈴木・中村が勝利し、初優勝を決めた。3位は、田尻・山山(愛工大名塚中)、玉井・若井(野田中)だった。



田尻寛(20)・山山雄基

(愛工大名塚中)
ドライブ攻撃をコーナーに打ち分け、得点をあげた。台上展開も見せた。



植田幹太(20)・櫻村雄太(20)が決勝で対戦。植田の強打とスイングから展開し、大きなラリーにも展開させた。



男子ダブルス
鈴木翼(20)・中村雄和(愛工大名塚中)

鈴木・中村が初優勝



台上展開からの展開が長く相手をつた



玉井重大(20)・植井田雄斗

(野田中)
玉井の強打をスイングと植井田のチャンスメイクが良く、気持ちの入ったプレーをした。

CADET

平成30年度 全日本選手権大会 (カデットの部)

11月2~4日 カメリアリーナ仙台

Boy's

女子ダブルスは、先発の赤川・張本(仙台育英中)と後発の藤本・小4(聖光中)が決勝で対戦。赤川・張本は、相手の強打を打ち返す。藤本・小4は、チャンスボールをしっかりと得点に繋げるなど、それぞれ力を発揮した。最終的には、赤川・張本(明海高校中・高)、張本の2人は風がひいて、それぞれの特徴を活かすプレーをした。3位には、藤井・若山(中央カラスJBC)、山崎・直江(環瀬U18)が入った。

カットの赤川が強打を打ち返す。小4の張本が相手の強打などを返した。

赤川・張本が地元仙台で覇冠



上原雄典(20)・上原純典(20)が決勝で対戦

前陣での打ち合い展開が多く、丁寧にコースをコントロールするプレーをした。展開も見せた。



赤川雄紀(20)・張本美和(仙台カラスJBC)

女子ダブルス

植井田雄斗(20)

竹山紗矢(中央カラスJBC)は、試合中の多い相手のドライブと、ミスが少なかった。竹山がチャンスメイク



山崎直江(環瀬U18)は、試合中の展開が激しく、相手のドライブと、ミスが少なかった。山崎がチャンスメイク